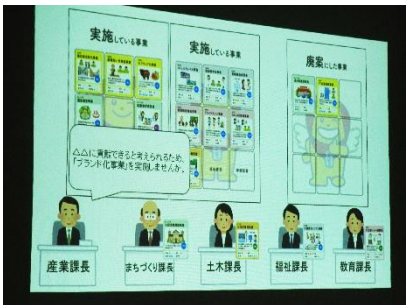

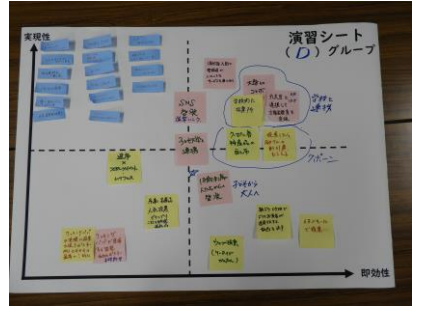




福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	令和6年度福岡教育事務所管内「福岡地区明るい選挙推進事業担当者会議」
期 日	令和6年7月4日（木）13:30～16:30（受付13:15～）
参加者	13名
日 程	<p>(1) 受 付 13:15～13:30</p> <p>(2) 開会行事 13:30～13:40【10分】</p> <p>(3) 説 明 13:40～14:00【20分】 「福岡県明るい選挙推進事業について」 福岡教育事務所 社会教育室 社会教育主事 辻 聡一郎 「シミュレーション2040について」 福岡県選挙管理委員会 書記 田中 里奈</p> <p>(4) 講 話 14:00～15:10【70分】 「常時啓発の必要性と今後の啓発の在り方」 九州大学大学院比較社会研究院 教授 施 光恒 氏</p> <p>(5) 質疑応答 15:20～15:30【10分】</p> <p>(6) 演 習 15:30～16:20【50分】 「エリア協議会における研修の課題と展望」</p> <p>(7) 閉 会 16:20～16:30【10分】</p>
活動の 実際	<p>近年、各種選挙において、若年層では特に低投票率が常態化しています。さらに全世代にわたって長期的に低下傾向にあることが指摘されていることを踏まえ、若年層の政治意識の高揚を図るとともに、全ての有権者が主権者としての主体的な投票行動を促すための啓発事業を推進することを目的として、管内の選挙担当者が集いました。</p> <p>まず、福岡教育事務所の社会教育主事から、本県における選挙の実態と本事業の趣旨を踏まえた事業説明を、県選挙管理委員会の書記からカードゲーム「シミュレーション2040」について説明を行いました。</p>  <p>次に、九州大学大学院比較社会研究院の施光恒教授から「常時啓発の必要性と今後の啓発の在り方」と題し、講話をしていただきました。投票率低下における時代的な背景や世界各国の現状などを踏まえ、政治的関心の一層の必要性についてご教授いただきました。また、主権者教育の重要性と、いわ</p>

	<p>ゆる「福岡方式」の価値に触れるとともに、「政治は現在ではなく未来を創るものであり、恩返しではなく“恩送り”である」という言葉に、参加している担当者は関心を寄せていました。</p> <p>そして、演習は「エリア協議会における研修の課題と展望」というテーマでグループワークに取り組みました。実現性と即効性の2つの軸において、地域の環境や資源（青）を活かしながら、主権者教育や常時啓発に係る取組（ピンク）と投票に足を運ぶイベント系の取組（黄色）について協議しました。他市町の実践や多種多様なアイデアを参考にしながら、次の一手を考える参加者の前向きな姿勢を感じることができる演習となりました。また、最後に施教授からのご助言で、協議した内容を価値づけいただきました。</p>	
<p>全体を ととして</p>	<p>参加者からは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なまちの資源を掘り起こしてみると色々面白い取組ができるのではないかと思った。実現可能性や即効性のバランスを考えながら今後の業務につなげていきたい。 ・若年層の投票率の低下は問題となっているが、主権者教育の有効性を感じることができた。「恩」という観点から啓発活動を行っていきたい。 ・各自治体が現在どのようなことに取り組んでいるのか把握したり、持っている資源をどのように啓発に活かしていけばよいのか考えたりすることができ、非常に参考になった。 <p>などの感想をいただきました。</p> <p>会のねらいを焦点化し、参加対象者と共通認識のもとに進めたことや、課題について考えるのではなく、できることやしたいことについて協議したことで参加者が前向きな意識をもって演習に取り組むことができたと考えます。</p> <p>今後も参加者の主体的な学びになるような研修企画や管内市町の実態やニーズに応じた支援に努めていきたいと思えます</p>	

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～

